

船橋市「市民協働の指針」改定の概要について

1. 本市が「市民参加と協働」を推進する目的と市の役割

本市の総合計画では、将来都市像「人も まちも 輝く 笑顔あふれる 船橋」を掲げています。多くの人がつながり合い、そのつながりの輪が広がっていくことは、まち全体の活力となり、将来都市像の土台となるものと考えています。

そのため、市は協働を推進し、つながりのきっかけとなる、市民参加のための様々な機会を提供するとともに、参加する主体同士を「繋ぐ」ためのコーディネート強化していくことが大切な役割であると考えております。

2. 改定の経緯および目的

平成 30 年に改定した現在の指針は、市が実施する市民向けの講義や、行政内部の研修で活用するなど、市民意識の浸透と市職員の意識の醸成に繋がってきました。

一方、コロナ禍以降様々な社会背景や市民意識が変化している中、市民参加の担い手の減少という課題の解決に向け、時代に合った指針にすることを目的として改定に着手してまいりました。

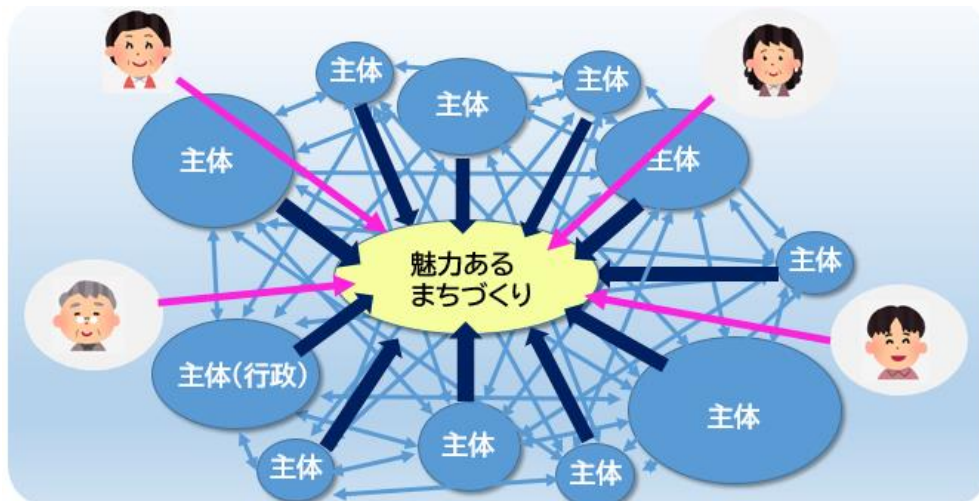
3. 改定のポイント

- 「夏祭りに参加する」というような身近な行動例を示すとともに、「地域の中の身近な存在である仲間」を少しずつ増やすことが協働の第一歩であることを提示
- 行政との協働では、アンケート調査やワークショップへの参加など、様々な参加の機会があることを提示
- 「協働推進の方向性」を分かりやすく提示し、その方策についても明記。

※以下、4. 推進のイメージを参照

4. 推進のイメージ

市には、より多くの市民が「つながる」機会を提供するとともに、多くの参加主体をコーディネートによって「つなげる」役割があり、特にこの2つの取組を強化、推進してまいります。



市民参加による“赤い糸”と協働による“青い糸”を無数の網目のように張り巡らせ、これらの糸を太く強く紡いでいくことが、誰もが輝くまちを創ることに繋がっていきます。